

一般質問

議長及び監査委員は、その職務の性質上、一般質問を行っていません。

- 二次元コード 市議会ホームページ上の各議員の質問動画へアクセスできます。
- マーカー部分 用語解説や写真・イラストを掲載しています。

科学教育センター 人気コースの休止、なぜ



わたなべ 忠司 (立憲ネット緑たちかわ)

問 小学校5、6年生を対象とした科学教育センターのカリキュラム、宇宙エレベーターロボットプログラミングコースは非常に人気が高く、この講座を受講するために科学教育センターに申し込む子がいるほどです。しかし、今年の募集資料では機材の老朽化や指導者不足などを理由に、コース開講の休止が記されています。休止理由の経緯等詳しくご説明ください。またコースの再開を求めますが、今後について市の考えをお示しください。

答 ここ数年、受講生である科学教育センター員の中から抽選で選ばれた児童を対象に宇宙エレベーターロボットプログラミングコースを開講していましたが、今年度は一旦休止しています。機材の老朽化とともに指導者の継続的な確保が困難であることが理由です。今年度はセンター員全員が参加するメインのコースの講座内容の充実を図りながら運営し、次年度以降については指導者確保の課題等も含めてセンター長と相談していきます。

一般質問項目 ①科学教育センターについて ②いじめ対策について

立川市の魅力発信 立川ナンバーの創設を



浅川 修一 (日本共産党)

問 本市の魅力を発信する方法の1つが自動車の立川ナンバーの創設だと考えます。本市は多摩地域の中心地であり、交通の要衝でもあります。また、国や都の公的機関や企業の事業所等も多く、商業的にも経済的にも大きな役割を果たしていると考えます。立川は大きな魅力がある名前であり、立川市民だけでなく周辺自治体の人々とも一緒になってお互いに盛り上げていくことが大切です。立川ナンバーの創設について、市長の見解を伺います。

答 ご当地ナンバーは、地域名称とナンバーの図柄を作成することができるため、立川の名称やイメージを日本各地でアピールすることができます。認知度の向上とともにいわゆるシビックプライドの醸成を進める一助になると考えています。一方で、新規登録車両は全てご当地ナンバーとなり、他の選択ができなくなることで、申請には市内の登録自動車数に一定の条件があることなどが課題となります。今後、制度の動向に注視しながら対応を考えていきます。

一般質問項目 ①市民からの相談への対応について ②立川市の魅力発信について ③交通安全対策について ④まちづくりについて ⑤行財政問題について

栄緑地歩道の植栽 安全に通れるような維持管理を



伊藤 幸秀 (公明党)

問 さまざまな植物が植えられている栄緑地ですが、新緑が芽吹く季節となり、すれ違って通行することが怖いくらい狭くなっているという話をお聞きしました。実際に栄緑地を歩いてみると、両脇の中低木が年月を経て歩道の内側まで伸びてしまっているように見受けられました。すれ違って通行することが危険と思われる箇所は歩道の幅に揃えてせん定し、多少伸びても通行に影響が出ないよう整えるべきと考えますが、市はどのように考えますか。

答 栄緑地の歩道の状況については、市としても現地を確認しています。ご指摘の通り、ツツジ等の植栽が張り出すことで歩道の幅が狭くなっており、最も狭い箇所はすれ違って通行することが難しい状況であることを把握しています。栄緑地についてはさまざまなご意見をいただいていますので、今回のご指摘の内容も踏まえ、生垣が通路にかからないように整理、維持管理できるような取り組みをしていきたいと考えています。

一般質問項目 ①児童放課後の居場所について ②公園の課題について ③子どもから成人までの、特別支援(発達障がい等々)について

第三小学校の不審者侵入事件 市として今後の対応は



頭山 太郎 (安進会)

問 第三小学校の不審者侵入事件について、怖い思いをした児童や保護者の方々に、1日も早く元の穏やかな心の日々が戻ることを願います。いくら学校の出入りを厳重にしても完全には侵入を防げません。安全安心が第一ですが、学校が保護者や地域に対して閉鎖的な印象を与えることは、地域と共にある地元の学校の本意ではないと考えます。事件の背景には学校内トラブルが関係しており、学校が対応困難な案件には、今後どのように対応していきますか。

答 市民の皆様にも多大なご迷惑とご心配をおかけし、心よりお詫び申し上げます。学校でのトラブル対応については、学校が保護者等と面談を実施する場合には複数名で対応すること、記録を取ることで、解決を急がないことなど、基本的な対応を心がけるよう教育委員会として、指導・助言していきます。長期化が予想される事案に関しては、速やかに指導主事と連携して対応するとともに**スクールロイヤー**の活用も含め組織的な対応を進めていきます。

一般質問項目 ①立川の教育について ②日野橋について ③立川駅南口の環境改善について

包括的な女性支援 実効性のある支援体制の構築を



あべ みさ (立憲ネット緑たちかわ)

問 女性支援法は、多様化、複合化した困難を抱える女性が安心し、自立して暮らせる社会の実現をめざしています。当事者中心の多様な支援を包括的に提供する体制の整備、民間団体との協働、早期から切れ目のない支援等を基本理念に掲げています。基本理念に即した実効性のある支援を実現するには、市民や行政、全ての人が支援の必要性やこの法の意義、理念、目的等を理解していくことが必要です。市の支援体制の現状と今後の取り組みについて伺います。

答 さまざまな困難を抱える女性に対して、個別の状況に応じた包括的な支援が必要であると認識しており、これまでも関係機関等と連携、協働して支援を行っているところです。より一層の支援を行うため、本年4月に設置した支援調整会議等を通じて、庁内外の関係部署との連携強化を図っていきます。また、女性相談支援員のスキル向上のための研修実施や、ホームページに専用ページを設け、支援内容や相談窓口の情報提供等に取り組んでいきます。

一般質問項目 ①女性支援法施行から1年 立川市はどう変わったのか ②災害時地下水利用ガイドラインを受けて ③子どもの権利保障のためにもオンブズパーソンの設置を!

在日米軍基地が及ぼす影響 多発する事件等をどう考えるか



永元 香子 (日本共産党)

問 米国防総省の統計報告書では、平成25年からの8年間に在日米軍で申告された性的暴行の件数が2,070件に達したとされています。今年は終戦から80年です。しかし、首都東京にも未だに在日米軍横田基地が置かれています。基地があることにより、PFASによる汚染、日本人女性への性的暴行、飲酒による事故等、あらゆる事件が多発しています。日本は独立国として存在しているのに、この事実に対して市はどう思われるのか、見解をお示しください。

答 在日米軍横田基地は日米安全保障条約と日米地位協定に基づき、日本と極東アジアの平和と安全の維持に寄与するという目的達成のため、日本政府が米国に対し使用を許可しているものと認識しています。一方で、人口が密集した市街地に存在するため、航空機の騒音被害や事故に対する不安、基地外での交通事故、その他事件等、住民生活にさまざまな影響を与えており、今後も市民の平穏で安全な生活を守っていかねばならないと考えています。

一般質問項目 ①「女性支援法」と女性総合センター「アイム」について ②横田基地について ③市内の学童保育所と「くるプレ」について

スクールロイヤー 学校で問題や事故が起きた際に、学校や教育委員会から相談を受けて、法的助言を行う弁護士のこと。